



2020年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2020年2月13日

上場会社名 エンシュウ株式会社

上場取引所 東

コード番号 6218 URL <http://www.enshu.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 社長執行役員 (氏名) 山下 晴央

問合せ先責任者 (役職名) 管理本部 企画財務部長 (氏名) 大野 裕哉

TEL 053-447-2111

四半期報告書提出予定日 2020年2月14日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第3四半期の連結業績(2019年4月1日～2019年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第3四半期	20,025	13.1	1,844	3.1	1,571	5.4	1,261	20.3
2019年3月期第3四半期	23,047	42.6	1,902	234.3	1,661	347.0	1,049	227.3

(注) 包括利益 2020年3月期第3四半期 1,255百万円 (26.9%) 2019年3月期第3四半期 989百万円 (218.3%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第3四半期	200.07	
2019年3月期第3四半期	166.35	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第3四半期	32,069	9,797	30.5
2019年3月期	34,995	8,605	24.6

(参考) 自己資本 2020年3月期第3四半期 9,797百万円 2019年3月期 8,605百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期		0.00		10.00	10.00
2020年3月期		0.00			
2020年3月期(予想)				30.00	30.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

2020年3月期期末配当金の内訳 普通配当 15円00銭 記念配当 15円00銭

3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	27,500	10.6	2,150	17.3	1,800	20.6	1,350	16.5	214.06

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- | | |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 有 |
| 以外の会計方針の変更 | : 無 |
| 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年3月期3Q	6,353,454 株	2019年3月期	6,353,454 株
期末自己株式数	2020年3月期3Q	47,164 株	2019年3月期	46,874 株
期中平均株式数(四半期累計)	2020年3月期3Q	6,306,541 株	2019年3月期3Q	6,307,138 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

(四半期決算補足説明資料の入手方法について)

四半期決算補足説明資料は2020年2月13日に当社ホームページに掲載いたします。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(会計方針の変更)	7
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当社グループの当第3四半期連結累計期間の売上高は、工作機械関連事業部門と輸送機器関連事業部門がともに減少したことにより20,025百万円（前年同期比13.1%減）となりました。損益につきましては、営業利益は1,844百万円（前年同期比3.1%減）となり、経常利益は1,571百万円（前年同期比5.4%減）となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益は1,261百万円（前年同期比20.3%増）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

工作機械関連事業部門におきましては、国内海外ともに売上が落ち込んだことにより、売上高は12,349百万円（前年同期比18.2%減）となりました。セグメント利益（営業利益）は、案件毎に技術面での原価低減を徹底したことや、製造面での効率アップ等の施策を推進した効果により1,743百万円（前年同期比20.7%増）となりました。

輸送機器関連事業部門におきましては、国内海外ともに減少したことにより、売上高は7,623百万円（前年同期比3.4%減）となりました。セグメント利益（営業利益）は、固定費削減や生産性向上活動を継続したものの経費負担が重く61百万円（前年同期比85.4%減）となりました。

その他の部門におきましては、不動産賃貸事業により、売上高は53百万円（前年同期と同額）となり、セグメント利益（営業利益）は38百万円（前年同期比0.7%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の資産合計は、前連結会計年度末に比べ2,925百万円減少し32,069百万円となりました。この主な要因は仕掛品が995百万円、商品及び製品が427百万円増加したものの、現金及び預金が2,329百万円、受取手形及び売掛金が1,949百万円減少したことによるものであります。

負債合計は、前連結会計年度末に比べ4,117百万円減少し22,272百万円となりました。この主な要因は、長期借入金が515百万円増加したものの、短期借入金が3,824百万円、支払手形及び買掛金が456百万円、未払法人税等が440百万円減少したことによるものであります。

純資産合計は、前連結会計年度末に比べ1,192百万円増加し9,797百万円となりました。この主な要因は、為替換算調整勘定が66百万円減少したものの、親会社株主に帰属する四半期純利益1,261百万円を計上したことによるものであります。この結果、自己資本比率は30.5%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の連結業績予想につきましては、当第3四半期連結累計期間の実績及び今後の見通しを勘案し、2019年11月8日公表の予想を修正いたしました。

当連結会計年度（2020年3月期）の業績見通しにつきましては、売上高27,500百万円、営業利益2,150百万円、経常利益1,800百万円、親会社株主に帰属する当期純利益1,350百万円を見込んでおります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,385	2,055
受取手形及び売掛金	6,145	4,195
電子記録債権	1,173	1,140
商品及び製品	2,354	2,781
仕掛品	4,828	5,823
原材料及び貯蔵品	1,625	1,676
その他	602	408
貸倒引当金	△11	△5
流動資産合計	21,104	18,076
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	2,710	2,647
機械装置及び運搬具（純額）	2,901	2,728
土地	7,387	7,392
その他（純額）	379	853
有形固定資産合計	13,378	13,622
無形固定資産		
のれん	2	—
その他	115	187
無形固定資産合計	118	187
投資その他の資産		
その他	397	185
貸倒引当金	△2	△2
投資その他の資産合計	394	182
固定資産合計	13,891	13,992
資産合計	34,995	32,069
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,616	2,160
電子記録債務	1,715	1,820
短期借入金	6,479	2,655
未払法人税等	508	68
賞与引当金	461	259
その他	3,617	3,794
流動負債合計	15,398	10,757
固定負債		
長期借入金	5,600	6,115
役員退職慰労引当金	15	15
退職給付に係る負債	3,483	3,356
資産除去債務	114	114
その他	1,777	1,913
固定負債合計	10,991	11,514
負債合計	26,390	22,272

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,640	4,640
利益剰余金	1,065	2,264
自己株式	△68	△69
株主資本合計	5,637	6,835
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1	1
土地再評価差額金	3,666	3,666
為替換算調整勘定	223	156
退職給付に係る調整累計額	△923	△862
その他の包括利益累計額合計	2,967	2,961
純資産合計	8,605	9,797
負債純資産合計	34,995	32,069

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年12月31日)
売上高	23,047	20,025
売上原価	19,044	16,008
売上総利益	4,003	4,017
販売費及び一般管理費	2,100	2,173
営業利益	1,902	1,844
営業外収益		
受取利息	16	19
受取配当金	0	0
受取クレーム補償金	11	7
その他	48	39
営業外収益合計	76	67
営業外費用		
支払利息	169	138
為替差損	121	122
その他	27	79
営業外費用合計	317	339
経常利益	1,661	1,571
特別利益		
固定資産売却益	4	0
その他	0	—
特別利益合計	5	0
特別損失		
固定資産廃棄損	4	1
出資金評価損	—	37
その他	0	—
特別損失合計	5	38
税金等調整前四半期純利益	1,661	1,533
法人税、住民税及び事業税	433	243
法人税等調整額	179	29
法人税等合計	612	272
四半期純利益	1,049	1,261
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,049	1,261

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
四半期純利益	1,049	1,261
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	0	0
為替換算調整勘定	△111	△66
退職給付に係る調整額	52	60
その他の包括利益合計	△60	△6
四半期包括利益	989	1,255
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	989	1,255
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

当第3四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第3四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

IFRS第16号「リース」の適用

国際財務報告基準を適用している子会社は、第1四半期連結会計期間より、国際財務報告基準第16号「リース」(以下「IFRS第16号」という。)を適用しております。これにより、リースの借手は、原則としてすべてのリースを貸借対照表に資産及び負債として計上することとしました。また、これにあわせて、従来、投資その他の資産の「その他」(長期前払費用)に計上していた土地賃借料を有形固定資産の「その他」(使用権資産)に計上することとしました。IFRS第16号の適用については、経過的な取扱いに従っており、会計方針の変更による累積的影響額を第1四半期連結会計期間の期首の利益剰余金に計上しております。

この結果、当第3四半期連結会計期間末の有形固定資産の「その他」が241百万円増加、投資その他の資産の「その他」が166百万円減少、流動負債の「その他」が19百万円増加、固定負債の「その他」が55百万円増加しております。当第3四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であります。また、利益剰余金の当期首残高は0百万円減少しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他 (注)1	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	工作機械 関連事業	輸送機器 関連事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	15,101	7,892	22,994	53	23,047	—	23,047
セグメント間の内部売上高 又は振替高	16	0	16	—	16	△16	—
計	15,118	7,892	23,011	53	23,064	△16	23,047
セグメント利益	1,445	418	1,864	38	1,902	—	1,902

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸事業であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他 (注)1	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	工作機械 関連事業	輸送機器 関連事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	12,349	7,623	19,972	53	20,025	—	20,025
セグメント間の内部売上高 又は振替高	23	0	23	—	23	△23	—
計	12,372	7,623	19,996	53	20,049	△23	20,025
セグメント利益	1,743	61	1,805	38	1,844	—	1,844

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸事業であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。